

かせやまの森は環境省の「自然共生サイト」に申請中で、生物多様性を保全するエリアとして国際的なデータベースへの登録を目指しています。かせやまの森創造社は里山全体を歩いて、生きもののすみかを増やし、山崩れや道崩れを防ぐ活動を進めています。

森学校では現場を見て考えながら、生きものと人にとって最適な里庭をつくるため池を掘り、川の流れを整え、道や階段をつくります。

①森学校「里庭づくり」

時 1月26日(日)、2月23日(日・祝)、3月23日(日) 午前9時30分～午後2時

※雨天中止

定 20人程度

持 軍手、タオル、飲み物、軽食

②かせやまメンマクラブ入会者募集

令和7年度から「かせやまメンマクラブ」をスタートします。

放置竹林を抑えるために若い竹をどんどんとって、無添加・自然発酵のメンマを作って食べましょう。5月からお試し作業を開始します。皆さんのニーズを聞き準備します。希望者は連絡ください。

¥ 入会費 100円

所 かせやまの森

申 メールまたはファックスで中村へ。

※①は開催日10日前までに申し込みください。

問・主 かせやまの森創造社 [✉kaseyama.sozo01@gmail.com](mailto:kaseyama.sozo01@gmail.com) **fax** 075-256-5055

他 都市計画課では受付していません。



都市計画課 ☎75-1222

消費生活センターからのお知らせ

家電製品を安全に使うために
知っておくべきこと

熱風機から発火し、やけどや製品事故の被害にあった方から、事故が起こった際の事故品の取扱いや手順などのマニュアル化、啓発などの要望が当センターにも寄せられています。

私たちの生活は、家庭用電化製品抜きには成り立ちません。近年、多くの消費者は、ネット通販を利用していますが、ネット通販で購入した家電製品が発火し、やけどや、家を焼損したということが実際に発生しています。そのようなことを無くすためにも、まず、安全な製品を選ぶことが大切です。そのためには取扱説明書を大切に保管し、何かあった時に確認できるようにしましょう。

次のPSEマーク「特定電気用品(116品目)と特定電気用品以外の電気用品(341品目)」を確認ください。



このPSEマークは、電気用品の製造や輸入、販売を事業としておこなう際の手続きや罰則を定めた「電気用品安全法」に則り、生産された製品に表示されています。

特定電気用品(116品目)と特定電気用品以外の電気用品(341品目)、それとは別にリコール届が出されているのを知らずに、他人から製品を譲り受けたり、実家の製品を持ち出して使うこともあるかもしれません。その場合、消費者庁のリコール情報(相談先情報やリコール情報のリンクも掲載)を確認ください。

事故にあった場合は、メーカーや行政機関に知らせ、近くの消費生活センターなどへも相談しましょう(同種の事故情報が集まることでリコールにつながり、被害の拡大防止につながります)。

所 相楽会館1階(木津上戸15)

問 相楽消費生活センター ☎72-9955

相談日 月～金曜日(祝日・休日、年末年始除く)

相談時間 午前9時～正午、午後1時～4時

他 「消費者ホットライン」☎188(いやや!)番も利用ください。